

KSボーリング柱状図作成支援ツール 機能一覧(Ver.1.2 2020年6月8日時点)

項目	機能	機能		備考	
		Basic	Standard		
柱状図 編集	「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)」	○	○	平成27年 全国地質調査業協会連合会。	
	「ボーリング柱状図作成要領(案)」	○	○	昭和61年 JACIC版。	
	「地すべり調査用ボーリング柱状図作成要領(案)」	○	○	平成14年 土木研究所。	
	国土交通省 ボーリング 交換データ	「地質調査資料整理要領(案)」平成13年8月	△	△	読み込みのみ対応。
		「地質調査資料整理要領(案)」平成14年7月	○	○	
		「地質調査資料整理要領(案)」平成15年7月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成16年6月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成20年12月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領」平成28年10月	○	○	
	農林水産省 ボーリング 交換データ	「地質調査資料整理要領(案)」平成13年8月	△	△	読み込みのみ対応。
		「地質調査資料整理要領(案)」平成15年4月	○	○	
		「地質調査資料整理要領(案)」平成16年4月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成17年4月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成24年3月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成31年3月	○	○	
	作業で編集項目の表示・非表示	○	○	タブ単位で表示・非表示の設定ができます。 また、層情報タブは、項目毎の表示非表示ができます。	
	層情報をシート1枚で表示	○	○	以下の地層に関わる情報は本製品ではシートでまとめて編集します。 各項目の表示・非表示の設定ができます。 地層境界深度、地質・土質名、工学的分類、色調、硬軟、風化、変質、破砕度、コア形状、割れ目状態、相対密度・稠度、岩級区分、観察記事 岩級区分などの判定表を設定・カスタマイズできます。	
	判定表の設定	○	○	発注機関名等をあらかじめ登録するなど設定を編集できます。 <b>設定リストを社内LAN内で共有可能です。</b>	
	発注機関・受注会社・技術者・ボーリング機材の選択リストの編集(update)	○	○		
	地質調査技士・地質情報管理士登録番号の入力	○	○		
	詳細打撃貫入データの入力	○	○		
	標準貫入試験打撃貫入量曲線の印刷	○	○	標準貫入試験の試験グラフを印刷できます。	
	サンディング ・位置試験 専用入力シート	標準貫入試験	○	○	
		現場透水試験	○	○	
		孔内載荷試験	○	○	
		PS検層	○	○	
		ルジオン試験	○	○	
	地下水検層	○	○		
	削孔情報からコア長・コア採取率・削孔速度の自動計算	○	○	付随データの保存は独自形式のみ	
	コア長からRQD、最大コア長の自動計算	○	○	付随データの保存は独自形式のみ	
入力単位の指定	○	○	標準貫入試験の貫入量(cm,mm)と、削孔情報の圧力単位(MPa,kPa,kgf)が選択できます。		
セルのコピー・ペースト	○	○	範囲選択もできます。		
やり直し(アンドゥー)・やり直しを元に戻す(リドゥー)	○	○	一定の状況ではできない場合があります。		
「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)」	○	○	平成27年 全国地質調査業協会連合会。		
柱状図 表示・印刷	「ボーリング柱状図作成要領(案)」	○	○	昭和61年 JACIC版。	
	「地すべり調査用ボーリング柱状図作成要領(案)」	○	○	平成14年 土木研究所。	
	国土交通省 ボーリング 交換データ	「地質調査資料整理要領(案)」平成13年8月	×	×	対応しません。
		「地質調査資料整理要領(案)」平成14年7月	○	○	
		「地質調査資料整理要領(案)」平成15年7月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成16年6月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成20年12月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領」平成28年10月	○	○	
	農林水産省 ボーリング 交換データ	「地質調査資料整理要領(案)」平成13年8月	×	×	対応しません。
		「地質調査資料整理要領(案)」平成15年4月	○	○	
		「地質調査資料整理要領(案)」平成16年4月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成17年4月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成24年3月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成31年3月	○	○	
	複数ファイルの読み込み	○	○	一度に複数のファイルを読み込みタブで表示の切り替えができます。	
	設定の保存	○	○	業務ごとにファイル指定まで含めて、まとめて設定を保存・読み込みできます。	
	よく使う設定の登録(update)	○	○	よく使う設定を登録し、呼び出しすることができます。 <b>設定リストを社内LAN内で共有可能です。</b>	
	表示の拡大縮小	○	○	20~400%の範囲で拡大縮小できます。	
	白紙の柱状図面作成	○	○	書き込み用の白紙柱状図を作成できます。	
	測地系表示	○	○	作成した柱状図の測地系を表示できます。	
	基準標高表示	○	○	T.P.以外の基準標高表示と、それによる標高が表示できます。	
	PS検層図表示	○	○		
	柱状図カラムの色づけ	○	○	ハッチの設定によります。	
	風化帯表現	○	○	風化(弱・中・強)について柱状図で区別可能な表示をします。	
	表示する地下水位の選択(new)	○	○	表示する地下水位を選択することができます。	
	コア写真の表示(new)	○	○	柱状図中にコア写真を貼り付け表示できます。	
	凡例印刷	○	○	地質区分、記号等の凡例を表示します。	
	複数ページにまたがる場合にカラムのヘッダー表示	○	○	単票印刷の場合、2ページ目以降もカラムのヘッダーを表示します。	
	ボーリング名表示	○	○	2ページ目以降で、ボーリング名が分かるよう印字します。	
	ページ番号付加	○	○	ページ番号を表示します。	
出力サイズの選択	○	○	縦幅はA4(210mm)A3(297mm)のどちらかです。縦幅はカスタマイズできます。		
ロール紙対応	○	○	ロール紙による印刷可能です(お使いのコンピュータの能力によっては出力できない場合があります)。		
すべて印刷	○	○	読み込みしたファイルを一度にすべて印刷できます。		
PDFファイル出力	△	△	印刷機能を用いてPDFに出力ができます。Windows10は標準機能でPDF印刷ができます。		
DXF出力	○	○	Ver14相当(完全な互換性を保証するものではありません)。		
すべてDXF出力	○	○	読み込みしたファイルを一度にすべてDXF出力できます。		
表示項目の選択	○	○	表示順序は変更できません。地すべり柱状図(土木研究所)は表示項目を変更できません。		
表示項目の幅の調整	○	○			
空白カラムの表示	-	○	空白のカラムを設定表示可能です。		
試験・試料採取簡略表示	○	○			
試料採取グループ表示	○	○			
図のコピー	○	○	Windows Metafile形式、BITMAP形式		
アドオン追加	-	○	今後、アドオンで表示項目を追加できます。受注によるカスタムアドオンもできます。		
カスタム機能の作成	-	○	お客様の用途に合わせて拡張機能を作成します。(費用・工期等、別途見積り)		
簡略柱状図	「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)」	○	○	平成27年 全国地質調査業協会連合会。	
	「ボーリング柱状図作成要領(案)」	○	○	昭和61年 JACIC版。	
	「地すべり調査用ボーリング柱状図作成要領(案)」	×	×	平成14年 土木研究所。対応しません。	
	国土交通省 ボーリング 交換データ	「地質調査資料整理要領(案)」平成13年8月	×	×	対応しません。
		「地質調査資料整理要領(案)」平成14年7月	△	○	
		「地質調査資料整理要領(案)」平成15年7月	△	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成16年6月	△	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成20年12月	△	○	地すべり仕様簡略柱状図は、水位観測図で出力できます(Standard版のみ)。
		「地質・土質調査成果電子納品要領」平成28年10月	△	○	
	農林水産省 ボーリング 交換データ	「地質調査資料整理要領(案)」平成13年8月	×	×	対応しません。
		「地質調査資料整理要領(案)」平成15年4月	△	○	
		「地質調査資料整理要領(案)」平成16年4月	△	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成17年4月	△	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成24年3月	○	○	
		「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成31年3月	○	○	

簡略柱状図	複数ファイルの読み込み	○	○	一度に複数のファイルを読み込みタブで表示の切り替えができます。		
	設定の保存	○	○	業務ごとにファイル指定まで含めて、まとめて設定を保存、読み込みできます。		
	<b>よく使う設定の登録(update!)</b>	○	○	よく使う設定を登録し、呼び出しすることができます。 <b>設定リストを社内LAN内で共有可能です。</b>		
	表示の拡大縮小	○	○	20~400%の範囲で拡大縮小ができます。		
	基準標高表示	○	○	T.P.以外の基準標高表示と、それによる標高が表示できます。		
	旗揚げ位置の設定	○	○	ボーリング孔毎に簡略柱状図の左右選択ができます。		
	ボーリング名の表示角度設定	○	○	水平~垂直の範囲で左右角度指定ができます。		
	<b>表示する地下水位の選択(new!)</b>	○	○	表示する地下水位を選択することができます。		
	地下水位の表示	△	△	水位は表示できますが、ケーシングを考慮した引出線の表示方法はできません。		
	深度表示	○	○	層境界か等間隔か、どちらかを選択できます。		
	ストレーナ位置の表示	○	○			
	柱状図カラムの色づけ	○	○	ハッチの設定によります。		
	風化帯表現	○	○	風化(弱・中・強)について柱状図で区別可能な表示をします。		
	試験位置・サンプリング位置の表示	○	○			
	岩級区分の表示	○	○			
	試験結果 表示機能	ルジオン値	○	○		
		N値	○	○		
		RQD	○	○		
		PS検層	○	○		
		透水試験結果	○	○		
		まとめて表示	△	△	N値、RQD、PS検層についてはまとめて表示ができます。	
		DXF出力	○	○	Ver14相当(完全な互換性を保証するものではありません)。	
		すべてDXF出力	○	○	読み込みしたファイルを一度にすべてDXF出力できます。	
		まとめてDXF出力	-	○	読み込みしたファイルにまとめて出力できます。標高値に口役して1層表が位置を調整し ます。	
		SXF出力	○	○	P21,SFC(Ver3.1)形式のみ対応しています。 SXF出力を行うにはMicrosoft Visual C++ 2008 再頒布パッケージのインストールが必要 です。	
すべてSXF出力	○	○	読み込みしたファイルを一度にすべてSXF出力できます。			
図のコピー	○	○	Windows Metafile形式。			
カスタム機能の作成	-	○	お客様の用途に合わせて拡張機能を作成します。(費用・工期等、別途見積もり)			
水位観測図	複数ファイルの読み込み	○	○	一度に複数のファイルを読み込みタブで表示の切り替えができます。		
	設定の保存	○	○	業務ごとにファイル指定まで含めて、まとめて設定を保存、読み込みできます。		
	<b>よく使う設定の登録(update!)</b>	○	○	よく使う設定を登録し、呼び出しすることができます。 <b>設定リストを社内LAN内で共有可能です。</b>		
	表示の拡大縮小	○	○	20~400%の範囲で拡大縮小ができます。		
	基準標高表示	○	○	T.P.以外の基準標高表示と、それによる標高が表示できます。		
	深度表示	○	○	層境界か等間隔か、どちらかを選択できます。		
	ストレーナ位置の表示	○	○			
	柱状図カラムの色づけ	○	○	ハッチの設定によります。		
	追加水位観測の表示	-	○	透水試験などによる水位観測結果を追加で表示できます。		
	DXF出力	○	○	Ver14相当(完全な互換性を保証するものではありません)。		
	すべてDXF出力	○	○	読み込みしたファイルを一度にすべてDXF出力できます。		
	SXF出力	○	○	P21,SFC(Ver3.1)形式のみ対応しています。 SXF出力を行うにはMicrosoft Visual C++ 2008 再頒布パッケージのインストールが必要 です。		
	図のコピー	○	○	Windows Metafile形式。		
	カスタム機能の作成	-	○	お客様の用途に合わせて拡張機能を作成します。(費用・工期等、別途見積もり)		
	コア写真整理 new!	撮影写真の整理	-	○	撮影した写真から必要な写真を深度に関連付けして簡単に整理できます。	
		コア写真の切り出しと連結	-	○	コア写真からコア箱部分を切り出すことができます。切り出し後、写真を連結して印刷可能 です。	
		明度調整	-	○	切り出したコア箱は明度調整できます。	
		コア写真に名前をつけて出力	-	○	整理したコア写真を孔番・深度範囲で名前をつけて出力できます。	
		ひとまとめに保存	-	○	整理した写真と情報を一つのファイルで保存できます。	
		柱状図ファイルと関連付け	-	○	弊社独自形式の柱状図ファイル(BDF)とお互いに関連付けできます。	
		カスタム機能の作成	-	○	お客様の用途に合わせて拡張機能を作成します。(費用・工期等、別途見積もり)	
		ボーリング 情報管理	ボーリング名、連番、総本数	○	○	
			ボーリング 情報の 一括入力	○	○	ボーリングの基本情報を一括して入力できます。
			調査目的・調査対象、調査期間・柱状図様式	○	○	
	公開・非公開の設定		○	○		
調査位置・緯度経度・標高・ローカル座標等	○		○			
会社情報・主任技術者・現場代理人等	○		○			
試験機・標準貫入試験方法等	○		○			
判定表の設定	○		○	岩級区分などの判定表を一括して設定できます。		
<b>発注機関・受注会社・技術者・ボーリング機材の選択リストの編集(update!)</b>	○		○	発注機関名等をあらかじめ登録するなど設定を編集できます。 <b>設定リストを社内LAN内で共有可能です。</b>		
個別のボーリングファイルへの反映	○		○			
個別のボーリングファイルからの取り込み	○		○			
ボーリング位置確認	○		○	インターネット接続が必要です。		
緯度経度-平面直角座標の相互変換	○		○	日本平面直角座標のみ対応です。		
<b>国土交通省 BORINGフォルダーの作成(update!)</b>	△		△	DATA、DRA、LOG、PICフォルダーおよびBORING.XMLの作成に対応しています。		
<b>農林水産省 BORINGフォルダーの作成(update!)</b>	△		△	OTHRは未対応です。 <b>コア写真出力に対応しました。</b>		
出力チェック用の国土交通省 チェックシステム用テストフォルダーの作成(update!)	-	○	上記BORINGフォルダーの対応範囲及びINDEX.D.XMLのダミー出力に対応していま す。 <b>コア写真出力に対応しました。</b>			
出力チェック用の農林水産省 チェックシステム用テストフォルダーの作成(update!)	-	○				
セルのコピー・ペースト	○	○	範囲選択もできます。			
やり直し(アンドゥー)・やり直しを元に戻す(リドゥー)	○	○	一定の状況ではできない場合があります。			
数量計算	「設計業務等標準積算基準書」	-	△	国土交通省2019年版。(完全な対応を保証するものではありません)		
	積算土質区分の指定	-	○			
	単一層中の複数土質区分の指定	-	○	層中で分離している場合は、層の分割ができます。混在層は2つの積算土質区分ま で指定できます。		
	本孔・別孔 の設定	別孔の追加	-	○	9孔以上は表示保証対象外です。	
		オールコア・ノンコアの設定	-	○		
		別孔名の設定	-	×	別孔名は指定できません。	
	サウンディング ・原位置試験	深度毎の孔径の設定	-	○		
		標準貫入試験数量の設定	-	○		
	サンプリング数量の設定	原位置試験数量の設定	-	○		
		サンプリング数量の設定	-	○		
	ボーリング孔数量計算図	-	○			
	数量総括表	-	○			
	サウンディング及び原位置試験数量総括表	-	○			
	表のコピー	-	○	HTML形式。エクセル等に貼り付けできます。		
	柱状図 ハッチ編集	柱状図ハッチの編集	-	○		
ハッチの色の設定		-	○			
他のハッチを参照して設定		-	○			
その他	その他カスタマイズ	-	○	お客様の用途に合わせて拡張機能を作成します。(費用・工期等、別途見積もり)		